



地域医療
支援病院

災害拠点
病院

地域がん
診療連携
拠点病院

患者サポートセンター広報誌

九州労災病院

九労ハロー

Kyuro Hello!

2022 April vol.90

理念 地域住民と勤労者の皆様に、良質で安全な医療を提供します。

- 基本方針**
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を提供します。
 - 地域医療機関との連携を重視し、中核病院として高度専門医療を担います。
 - 働く人々の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
 - 患者さんに寄り添う心と、高い技能を兼ね備えた医療人を育成します。
 - 経営基盤が安定し、働き甲斐のある病院づくりを目指します。

院長 就任の ご挨拶

ついに憧れの 九州労災病院に就職できました

九州労災病院院長 三浦 裕正



岩本幸英前病院長の後任として、本年4月から九州労災病院院長に就任いたしました三浦裕正です。どうぞ宜しくお願いいたします。まずは自己紹介から始めたいと思います。私は長崎県佐世保市の生まれで、昭和57年に九州大学医学部を卒業し、九大整形外科に入局しました。関連病院での研修や米国留学を経て、平成元年に大学に戻り長らく九大に勤務しておりましたが、平成22年に愛媛大学整形外科教授として赴任しました。愛媛大学では12年の任期中、副病院長3年に病院長6年と病院執行部に合計9年間おりました、大学病院の経営改善とブランディング戦略に注力しました。その一環としてFM愛媛で「Dr. ミュウミュウの次の方どうぞ」というラジオ番組を担当し、病院内から様々な職種のスタッフをゲストとして招き、大学病院の裏側を分かりやすくリスナーに解説しました。また、民間資金の活用により、施設内薬局の導入を伴う患者用立体駐車場整備事業を推進し、サステナブルな病院経営の実現にも寄与しました。

さて、九大整形外科は多くの関連病院を有しておりますが、その中でも特に九州労災病院は充実した陣容に圧倒的な手術症例数を誇り、研修医達が一番人気でした。九大整形外科の研修先は伝統的に学年毎のあみだくじで決定される慣習となっており、くじ運に恵まれない私はついぞ九労で研修することは適わなかったのであります。今回、ようやく憧れの九州労災病院に就職することができ、心からの幸せを感じております。

九州労災病院は地域住民や勤労者の皆様に、良質で安全な医療を提供することを理念として掲げています。九州労災病院の全スタッフが一丸となってその理念の実現のために最善の努力を続けていくことをお約束いたします。そのために、スタッフにはのびのびいきいきと誇りを持って仕事をして欲しい。その環境作りが私の最大のミッションであると考えています。

どうか地域の皆様からの暖かいご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

院長退任のご挨拶

大変お世話になりました。 有難うございました。



院長
岩本 幸英

令和4年3月31日付けで、九州労災病院院長を退任いたしました。私は今から40年以上前、2度にわたり九労の整形外科に研修医として勤務しました。九労はいわば私を臨床医として育ててくれた病院であり、6年前に九大を定年退職し九労の院長に就任した時は、里帰りをしたようなわくわくした気分でした。以来6年、皆様のおかげで無事任期を全うし退任の日を迎えることができました。大変お世話になりました。有難うございました。

院長就任の時点で、九労では従来の地域連携、救急医療、勤労者医療に加え、がん診療の充実を図ることが重点目標として掲げられていました。そこで、従来九労のがん診療を担ってきた診療科に加え、放射線治療科、骨軟部腫瘍外科、がん患者の周術期口腔管理を担う歯科口腔外科を新設し、外来化学療法室の拡張を行うなど病院の総力をあげて取り組んだ結果、令和2年には病院の悲願である地域がん診療連携拠点病院の認可を得ることができました。今後、九労のがん診療がさらに充実され、地域の皆様のお役に立てることを祈念しております。

任期後半の2年間は、思いがけない新型コロナウイルス感染症対策に追われました。九労のコロナに対する方針を、地域の先生方との連携のもと基幹病院としての責務を果たしつつ、行政との連携のもと地域のコロナ対策に貢献することとし、これまで懸命に取り組んで参りました。今後早期にパンデミックが終息し、皆様が平穏な日常を取り戻されることを祈念いたしております。

● 混沌とした医療情勢の中、九労が今後も地域の基幹病院としての役割を果たし続けるためには、地域の先生方との緊密な連携が不可欠です。今後もより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念しつつ、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

患者サポートセンター

師長のご挨拶

外来看護師長 樋渡 英子

患者サポートセンターの立ち上げと共に2020年に赴任した樋渡です。2年間ご愛顧頂き、大変ありがとうございました。2022年4月から外来に異動となります。今後外来では、更に『繋がる』を意識し、シームレスな継続医療・看護ができる様、地域と急性期病院が垣根なく繋がっていくことを目指します。どんなお困りごとも遠慮なくご相談ください。

ありがとう
ございました！

よろしく
お願いします！



患者サポートセンター師長 西本 良子

4月より患者サポートセンター師長に配属となりました西本です。患者、家族の皆さんと地域連携病院の架け橋となっていくのは勿論ですがみなさんが気軽に立ち寄って相談できるような明るく開放的な場所にしていきたいと考えています。患者サポートセンターは、皆さんをお待ちしています。



医師交代のお知らせ

新任

よろしく
お願いいたします

退職

お世話に
なりました

院	長 ▶▶▶	みうら 三浦	ひろまさ 裕正		岩本 幸英	
内	科 ▶▶▶	よしむら 吉村 いけだ 池田	しょう 将 すみか 純香	とくしま 徳島 れみ 礼実	笹原 陽介 多田隈 博 梅澤 智史 中村 圭 小林 宏正	
呼吸器内科	▶▶▶	かわかみ 川上	さとる 覚	ありむら 有村	ひでのぶ 豪修	
消化器内科	▶▶▶	せんじゅう 千住 くらしげ 倉重 ひらやま 平山	たけし 猛士 ともゆき 智之 まさひろ 雅大	ちやえん 茶園 かげはし 梯 祥太郎	ともひと 智人 しょうたろう 祥太郎	國吉 政美 梅野 成大 藤山 隆 西嶋 健一 武内 翼 末永 顕彦
循環器内科	▶▶▶				中村 圭吾	
脳血管内科	▶▶▶	きむら 木村	しゅんすけ 俊介		熊本 将也	
小児科	▶▶▶	おがわ 小川	まさと 将人		河田 泰定 中村 慶司	
外科	▶▶▶	くどう 工藤	ゆうざん 遊山	ふじもと 藤本	かつし 勝士	沖本 隆司
整形外科	▶▶▶	たかぎ 高崎 いしかわ 石川 とう 藤	みのる 実 ちなつ 千夏 よしつぐ 良倫	よしもと 吉本	まさと 昌人 こうづま 上妻隆太郎	高須 博士 川本 浩大 亀山みどり 坂井崇一郎 縄田 知也
皮膚科	▶▶▶	たしろ 田代	ともこ 朋子			
産婦人科	▶▶▶	にしむら 西村	かずあき 和朗	いとお 飯尾	かずあき 一陽	北島 光泰
耳鼻咽喉科	▶▶▶	ふじむら 藤村	しんたろう 慎太郎			川村 有希
リハビリテーション科	▶▶▶	たなか 田中	りょう 亮			吉田 歩美
放射線診断科	▶▶▶	またけ 眞武	くにしげ 邦茂			古屋 暁生 西村 俊輔
麻酔科	▶▶▶	みよし 三好	さき 早紀			神野 正航
病理診断科	▶▶▶	いねむら 岩村	りゅうじ 隆二			稲葉 優奈
救急科	▶▶▶	みのだ 蓼田	こうへい 恒平			

患者サポートセンターをご利用ください

- 電話・FAXによる紹介患者さんの受診予約・事前受付
- MRI・CT・胃カメラ等の検査予約
- 救急診療のご依頼
- 転院に関する相談・紹介・問い合わせ
- 診療に関する様々な問い合わせ
- 患者さんに関する情報や返事が滞っている場合
- 診療情報提供書の発送業務
- 開放型病床利用に関すること
- セカンドオピニオン外来に関すること

お困りのことがあれば
ご連絡ください



九州労災病院

〒800-0296 北九州市小倉南区曾根北町1-1

TEL 093-471-1121 (代表)

ホームページ

<http://www.kyushuh.johas.go.jp>



患者サポートセンター

患者サポートセンターSTAFF

センター長 副院長 中島 信能

入退院支援部門 師長 西本 良子

社会福祉部門 M S W 坂出 友美/豊嶋 奈保子/
竹中 芳美/鈴木 幸

地域連携部門 事務 山本 尚宏/福田 圭介/久保 良恵
小笠原紗彩乃/黒田 早苗/
西山 淳子/迫 やよい

お問い合わせ先

入退院支援部門 代表電話 093-471-1121
社会福祉部門

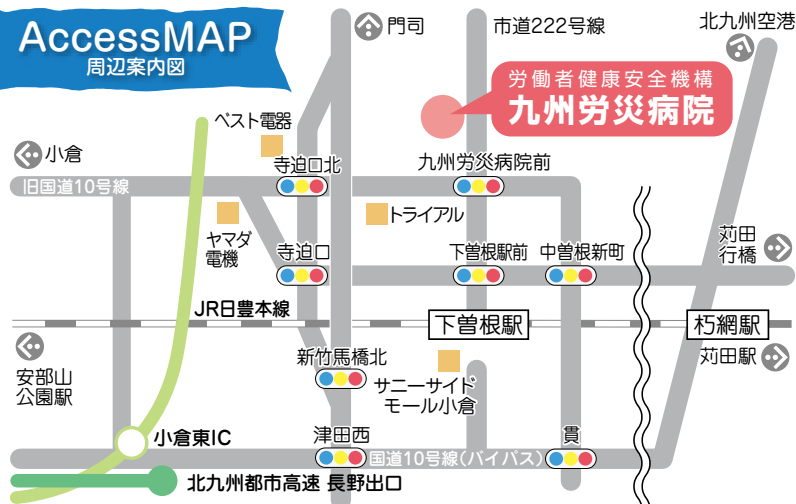
地域連携部門 直通電話 093-475-9686

F A X 093-473-5903

共通 E-mail renkei.renk-k@kyushuh.johas.go.jp

AccessMAP

周辺案内図



診療案内

受付時間 午前8時15分～午前11時

救急受付 急患は24時間随時受け付けます

診療時間 午前8時45分～午後5時15分

休診日 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)

初診時 5,500円
選定療養費 診療情報提供書のご持参を
お願いしております